



月別販売高状況 (速報)

2021年 6 月期



2020年8月12日

国内リテール事業 (主要5社※)		2020年						2021年						通期
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
既存店	売上高	97.8%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	97.8%
	客数	93.4%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	93.4%
	客単価	104.7%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	104.7%
	対象店舗数	521店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	521店
	土日休日数増減	+1日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	+1日
全店	売上高	100.8%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	100.8%
	店舗数	579店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	579店
	前年同月店舗数	559店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	店	559店

※ (株)ドン・キホーテ、ユニー(株)、(株)長崎屋、UDリテール(株)、(株)ダイシン百貨店

1. 当月は活発な梅雨前線の影響で、全国的に雨が降り続き、「令和2年7月豪雨」として甚大な被害をもたらした地域がありました。統計開始以来、7月として最も多雨となり、日照時間は最も少なくなるなど、気温は低く推移した1ヵ月となりました。
2. 悪天候はお客さま来店数に、低気温は夏物商品の販売に、それぞれマイナス影響を及ぼしました。屋外イベントの中止やレジャー自粛の動きがあったことから、キャリケースなどのカバン類やアウトドア用品など、外出のための消費は苦戦しましたが、食品などの生活必需品は好調となりました。梅雨明けが遅れるなど、月後半になっても気温は上がらずに推移しましたが、感染拡大の警戒感からマスクや除菌用品などの衛生用品のニーズが高まりました。
3. 国内リテール事業は生活必需品が牽引しました。(株)ドン・キホーテについては、免税売上高の蒸発(押下げ：8.2pt.)は継続していますが、国内需要は堅調に推移しました。日配品や酒類などの食品が牽引した他、空気清浄機など感染拡大防止のためのアイテムが伸長しました。さらに、自転車が好調となりました。
4. ユニー(株)については、衣料品は低気温によって夏物衣料が苦戦しました。住居関連品は、調理家電や寝具及びゲームなどの玩具が好調となりました。食品はウチナカ需要を反映して、惣菜や酒類及び菓子類が高い成長率を記録しました。

<8月度新規出店予定>

- (1)ドン・キホーテ：①8月21日「ドン・キホーテ川越東口店(埼玉県川越市)」
- (2)ダブルネーム業態転換：①8月4日「アピタ掛川(静岡県掛川市)」

